

2017年度以前入学生対象
カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施の方針)

日本語日本文学科では、教育目的を実現するために、以下の9つを原則として教育課程を編成する。

1. 建学の精神に基づく人格教育

互いの「いのち」を尊び、感謝の心で接し合う社会の創造に資する学生の人格形成を支援するために、「宗教学」を初年次の必修とし、入学直後から建学の精神について学ぶ。

2. 多角的な視点を身につける教養教育

社会人に求められる幅広い教養を身につけるために、語学を必修として設定するとともに、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3領域から履修科目を選択し、多様な学びを保障し、多角的な視点を身につけられるようにする。

3. 自己実現を支援するキャリア教育

大学での学び方や自己の特性を知り、必要な知識やスキルを身につけるために、自身にあった職業選択につながるキャリア教育を実施する。

4. 学生のニーズにいていねいに対応する少人数指導

ゼミナール等を中心として、少人数編成の科目を初年次から最終学年まで縦断的に設置することをつうじて、教員や学生同士で「ともに学ぶ」ことを重視した教育を実施する。

5. 体系的カリキュラム

専門的知識を体系的に確実に修得させるために、各時代の文学・漢文学・日本語学に関する知識の専門性を、専門基礎教育から専門教育へ徐々に高める形で教育を展開する。

6. 課題探求的カリキュラム

知的社会活動や職業生活における基礎能力、および、専門的領域において基礎となる知識と技能を修得させるために、高等学校教育からの連続性に留意して、文字言語によるコミュニケーション能力を確実に修得できるようにする。

7. 体験的カリキュラム

自主的・積極的に社会に関わる能力を修得するために、課題を探求する能力、正確な情報分析能力、論理的思考能力、文字言語と音声言語によるコミュニケーション能力を重視した学びを用意する。

8. 学際的カリキュラム

社会の状況に興味と関心を持ち、課題を発見・探求しようとする姿勢を養わせるために、体験からの学びを重視しながら専門的知識の深化をはかることができる科目を設置する。

9. 実践的カリキュラム

幅広い分野で社会に貢献しうる能力を育成するために、日本語日本文学の領域を基礎としながら、さまざまな領域の知識を連携させて学ぶ実践的なコース（国語教育、書道教育、日本語教育、企画・編集の4コース）を提供する。